



飯島 衛 議員

八幡山グラウンド拡張計画の展望は

答 多くの町民の意見を設計に反映させたい

問 八幡山グラウンドはまち単独の事業ということだが進捗状況は。

答 町長 議会、学校、PTA、自治会連合会、体育協会、スポーツ推進委員会、文化協会からの代表者19人で研究懇談会を立ち上げ、これまで2回会議を開催した。

問 ジオラマ(模型)などをづくり、役場に展示して、町民の意見を取り入れる方法もあると思うが。

答 町長 それも一つの案だと思う。懇談会では現状の中で町民が使いやすいように検討している。

問 国際がん研究機関より、胃がんの8割がヘリコバクターピロリ菌の感染が原因であるとの報告があった。ABC検診を実施している県内の市町村は。

答 健康福祉課長 26年度は13市町村が行っている。費用は一人いくらか。

答 健康福祉課長 検診費用はおよそ2千円である。

問 渋川市が昨年、榛東村が9月より実施した。まちで実施の考えは。

答 町長 他市町村がやるからやるのではない。従来どおり胃バリウム検診をしたい。

ロタウイルスのワクチン接種に公費助成を

今後の検討課題としたい

問 ロタウイルスによる胃腸炎で5歳までに

ほぼすべての子どもが感染するといわれ、抗ウイルス剤がない状況である。日本でも2011年からワクチンが使えるようになったが、

接種費用が高額であり公費助成を望むが。

答 健康福祉課長 今後の検討課題としたい。2040年の群馬県人口推計予測で、吉岡町のみが人口増であり駒

答 町長 児童数の増加の状況をみながら、近隣の方の意向も聞きながら検討したい。

寄小の児童も増えると考えられるが、グラウンドの拡張の考えは。

問 老朽化した駒寄小体育館の建て替えの予定は。

答 町長 今の体育館が狭いのはわかっており、教育委員会とも相談しながら検討している。



八幡山グラウンド拡張予定地



駒寄小学校体育館



金谷重男 議員

中学の全国出場の実績に応えたグラウンド整備を

答 八幡山グラウンドはまち単独事業で進めている

えるが。

問 29年度に向け、国・県道バイパス2線の開通、インター大型化は進むが、接続する町道の整備は。

答 町長 高速道側道に

関しては見直した中で検討しなくてはと思っています。

問 防衛補助事業を活用

することも大事だが、ほかの補助事業の活用も大切。中学の駅伝の全国優勝やサッカー部の全国出場などの実績に応えたグラウン

答 町長 防衛補助事業

では、土地取得で50%、そこで事業をすると

教育委員会事務局長 ほかの補助金も活用したい。

ド整備が必要である。人工芝サッカー場や400メートルラックといった整備ができないか。

3分の2の補助が頂ける。防衛予算を有効にいかにかに使うかがまちの課題だ。八幡山グラウンドは町単独の事業で進めている。

問 29年度に向け、国・県道バイパス2線の開通、インター大型化は進むが、接続する町道の整備は。

答 町長 吉岡バイパス延伸は県主催の市町村懇談会で毎年お願いしている。

高速道側道も重要な新バイパスとして使

防衛補助事業を活用することも大事だが、ほかの補助事業の活用も大切。中学の駅伝の全国優勝やサッカー部の全国出場などの実績に応えたグラウン

8億円至近の大規模公園計画の縮小見直しは

コスト縮減に努め進める

問 8億円至近の大規模

公園計画縮小見直しと、土地開発公社を活用する考えは。

め公社にお願いした。きれいなまちを維持するためにはごみ収集は大切だ。ごみの収集費が前年の1850万円から3500万円以上になった経緯は。

答 町長 総合計画の主

要プロジェクトで、コスト縮減に努め進める。産業建設課長 26年度中の用地取得完了を目指す。多大なまちへの負担回避のた

答 町民生活課長

21年度は6事業者で入札、22年度は事業者が1組合に

問 総合計画策定にあ

たっては、まず「町

答 町長 総合計画4年

目にあたるが、順調に進捗している。

なったため随意契約となった。23年度からは4事業者で入札、26年度は全業者が1組合となったため随意契約となった。積算方法に関しては変わっていない。

と住民が対等」を「協働の精神」という表現にしていた。まちの政策に関しては町民への十分な説明が必要だが。



駅伝関東大会出場 (吉岡中)



こんな公園が欲しい (伊勢崎市)



小池春雄 議員

新年度の重点政策は

答 がん検診などの無料実施を考えている

み景気は低迷している。何をなすべきかが課題だ。

防犯カメラの設置、大久保の午王頭川沿いに親水公園

を整備したいと考えている。

を整備したいと考えている。

集団検診車

を整備したいと考えている。

問 アベノミクスは大企業や大株主に恩恵がない。雇用が百万人増えたといっても正規社員は20万人の減だ。今年4月の消費税増税で、消費は落ち込

答 町長 給食費の補助額の増額とがん検診の無料化、国保税の見直し、

給食費の無料化の考えは

給食費補助を増額したい



敬老福祉大会

問 町長の選挙公約である「子育てをするなら吉岡」と言っているが、今年8月から国の方針に先

今全国の小中学校で、給食費の無料制度が検討実施されている。また、子育て

がけ、小学校4年生からの高学年児童の学童保育を実施した。保護者も安心して仕事ができ早い対応に喜んで

町長 給食費補助として1200万円まちが補助している。同額程度の上乗せを考えている。

入200万円にも満たない人たちが増えている。この問題が改善されない現在は、少しでも支援策に踏み出すべきと思う。

問 同額程度とは、給食費補助は2400万円か。

答 町長 近いところまでと考えている。介護保険制度の見直しがあるたびに、高齢者やその家族の生活は想像を絶するものがある。町独自のサービスを実施すべきでは。

問 予算編成・公表までの規則はないのか。財務課長 規則はない。

答 町長 国保税の見直しと、がん検診などの無料化を考えている。



集団検診車



岸 祐次 議員

次期町政を運営する意思は

答しかるべき時に決めたい

問 町政運営の評価と次期町政への意思は。

答 町長 評価は、町民皆さまが評価するもの。しかるべき時が来れば、後援会や関係者らとよく相談しながら決めたい。

問 まちのトップリーダーはどうあるべきか。

答 町長 現状をよく把握し、タイミングを逃さず決断行動すること。駒寄SICの大型車対応化と西側の接続

問 道路は。

答 町長 本年3月に變更実施計画書が国土交通省に受理され実質的なスタートを切った。西側の清里地区との接続道路は、前橋市と協議しながら検討したい。

問 南下城山防災公園の進捗状況は。

答 産業建設課長 24年度から事業に着手し、現在用地取得を行っている。総事業費は8億5千万円で、防衛省補助金4億9千万円、まち負担は3億6千万円。完成は30年度を予定している。

問 まちの土地利用方針検討委員会の審議内容。

答 産業建設課長 まちの20年、30年後の将来を見据え、「用途地域」の見直しなどまち全体の土地利用がいかにあるべきかを検討し、町長に答申する。

問 吉岡バイパス信号機の地点名表示と街路灯の設置は。

答 産業建設課長 道路管理者と協議する。



駒寄SIC

土地利用の現状と有効活用策は

土地利用方針検討委員会で審議中である

問 土地利用の現状と規制は。

答 町長 土地利用の状況は、住宅用地や商

問 八幡山グラウンドなどにマラソンやウォーキングコースの設定は。

答 町長 研究懇談会でグラウンドの外周をウォーキングやランニング練習ができるよう要望がある。



地点名の表示を